

平成29年度「チーム 箕輪チャレンジ」政策提言への対応状況

研究テーマ	目指す姿・ありたい姿	政策提言内容	事業化への対応状況	担当課室
<p>地域の足を考える ～地域交通等の利便性向上～</p> <p>【箕輪チャレンジ】 ⑫「地域の足を守れ！」公共交通活性化チャレンジ</p>	<p>・地域交通網を整備し、生活利便性を高めることによる生活弱者対策 ・環境が変わっても安心して暮らせる「暮らしの足」の確保</p> <p><目標> ◎みのちゃんバス利用者:40,000人/年以上</p>	<p>①既存バスコース・ダイヤの見直し →医療機関、買い物のためのアクセスを主とした利便性向上 ②利用促進の方法 →バスを使ってもらう周知や工夫 ③バス以外の手段・方法 →デマンド型・地域住民等による支援 ④様々な地域資源との協働 →地元大型店・ながたの湯など</p>	<p>・政策提言を受け、地域交通の利便性の向上、利用促進、新たな交通手段・方法等のあり方と、その事業化について、庁内関係部署での調整及び交通会議での協議を始める。</p> <p>会議等に係る謝礼・旅費(200千円)</p>	<p>住民環境課</p>
<p>シティプロモーションと「町」の発信</p> <p>【箕輪チャレンジ】 ⑬「町民みんながセールスマン」箕輪町知名度向上チャレンジ ⑭「好きですみのわ！」ふるさと愛着応援チャレンジ</p>	<p>・みのわでの暮らしがデザインできる</p> <p><目標> ◎箕輪の面白い場所・モノ・コト・人を知って、行きたくなったり、関わってみたいくなる ◎みのわでやりたいと思っていることが実現できる</p>	<p>『つなぐ St. Project』 ①マッチング事業:HP上で登録した空き店舗・スペース情報を公開し、住民とオーナーのマッチングを図る ②プロモーション支援事業:商店街の空き店舗や空きスペースの複数を同時に活用し、出店者が企画やプロモーションについて、プロとともにイベントとしてデザイン、実践する講座</p>	<p>・シティプロモーションについては、「ほどほどの田舎 信州みのわ」知名度向上推進戦略をもとに進めていく。まちづくりワークショップ事業において、提言を踏まえ実施。また、大正大学の調査研究とあわせて検討していく。</p> <p>(新)まちづくりWS事業(1,000千円)</p>	<p>みのわの魅力発信室 商工観光推進室</p>